

一般質問

特別支援教育支援員と バイオマスタウン構想について

10月1日から6校に配置

質問 準備期間が短い、支援員の採用・研修スケジュール、目標とする成果は。

答弁 個に応じて適切に支援するため、適任者を選定するとともに、様々な機会を捉えて研修を行います。

質問 第二幼稚園の休園の件。保護者への説明後、要

金子 渡 議員

望を受けて、今後の方針は。

答弁 第二幼稚園については、来年度の園児募集は行わず、在園児が卒園するまで運営していきます。

『環境にやさしい渋川』

質問 間伐材、食品廃棄物や家畜排泄物等のバイオマスの活用が全国的に広まっている。渋川の活用現状は。

答弁 家畜排泄物等の現状は堆肥化により畑に還元されているほか、エネルギー利用はわずかです。

質問 『環境』をキーワードにし、資源循環型栽培を

売りにしたブランド野菜、グリーンツーリズム、エコ温泉伊香保等で新渋川市をPRしていくアイデアはどうか。

答弁 生ゴミ、家畜排泄物汚泥等賦存するバイオマスの調査とあわせ、生産振興・体験・観光等と関連付け

ながら研究を進めます。

質問 バイオマスを活用した地域活性化に全市域で取り組む考えは。

答弁 菜の花エコや廃食用油リサイクルの地域拡大と循環型社会の形成や活性化の取り組みを検討します。

質問 農林水産省が募集しているバイオマスタウン構想に手を挙げる考えは。

答弁 家畜排泄物の利用、分別収集の推進、資源再利用の普及・啓発を含め総合的に検討していきます。

新渋川市総合計画素案について

山崎 雄平 議員

質問 合併新市の素案で、旧渋川市は施策の展開でどうなっていくのか。日本のまんなか緑の渋川、農業・

答弁 渋川地区は農業の記述はないが、農業をなくすことではなく、総合的に農業を振興していきます。

質問 全国に知れた有名な

伊香保をこの素案で実際に機能させていくことができるか心配。

答弁 伊香保温泉のブランド性の高さに着目し、活性化を積極的に進めます。

質問 豊かな自然の維持・保全で、小野上地区は地場産業をいかし、まちらしくなるのか。

答弁 全国一を誇るコンニャクの生産維持を図り、環境に配慮し、担い手を中心に生産振興を図ります。

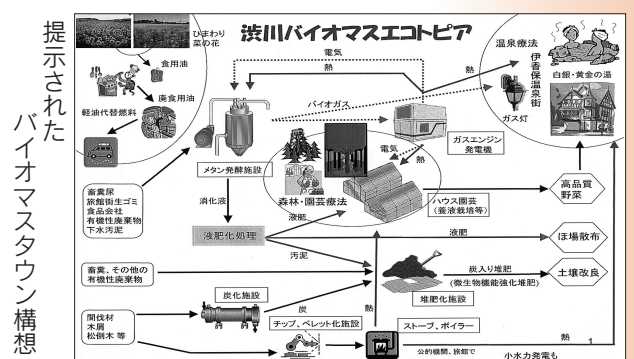
質問 赤城地区は市の中でいちばん多く農地があるが、

担い手育成をどうするのか。市の中心から遠くなるほど地域格差ができる。どう解消するのか。

答弁 担い手等の支援は関係機関と連携しながら取り組んでいきます。

質問 北橘地区では高付加価値をつけた農業に取り組む。具体的には、どんな事業をどれだけの農家でやるのか。

答弁 加工のほか有機栽培・ブランド化・高品質化も付加価値化と考えています。



一般質問



改良が待たれる狭あい道路

市内施設の安全、安心は

都丸 政行 議員

質問 建築工事発注時の設計、施工業者選定基準は。

答弁 建設工事等請負業者選定要領等に基づきます。

質問 設計が施設の使い勝手より、設計者を売る豪華さを重視した建物の傾向があると思うが市の考えは。

答弁 公共施設は、使用者が使いやすい安全でコスト

にも配慮した設計が基本であると考えます。

質問 清流の郷の法的不備なところや使い勝手の悪さ、こもち幼稚園のひさしより広い外廊下は、降雪時園児の危険性が大きいと思うが考えと対処は。

答弁 こもち幼稚園は、保護者に説明し理解していた

だいた。使用者の目線に立つた物作りが重要である。

質問 施工業者の担当者配属に対し、指名等を行うことはあるか。

答弁 指名を行うことはないが、入札に当たり一定の条件を付けることがある。

質問 市内各施設で不具合発覚後の対処は万全か。

答弁 担当課で不具合を調査し対応している。

質問 不具合発覚から補修工事完了までの記録を残す必要があると思うが、すべ

てを書き残す記録簿を各施設に設置の考えは。

答弁 各施設において不具合が発生した場合に記録し報告することになっている。今後も公共施設の良好な維持・保存に努めたい。

質問 詳細に記録を残さないと補修工事が応急処置であつたり、瑕疵担保履行の要請ができないと思うが。

答弁 不具合が発生した記録は重要なものと考えています。記録方法について研究したいと考えます。

土地改良事業について

入内島 英明 議員

質問 古巻小中学校の南北の農地の土地改良事業が推進委員会・役員の努力で動き出した。住民要望の強い、救急車・消防車が通行できるように、道路改良も含めて、当局も努力してほしいがどうか。

答弁 古巻小中学校の北側の道路改良事業については、

今後地元自治会の要望等を踏まえて、全市的な中で調整・検討を行っていききたいと考えています。

観光客集客事業の推進について

質問 軽井沢、草津町等では、スポーツ愛好団体を呼び込む集客施策を展開している。伊香保温泉集客対策

として運動施設の一般開放はできないのか。また、平成21年に全国シニアソフトボール大会を渋川市で開催したいとの打診があつたか。

答弁 市外から訪れる団体に対し各施設の便宜を図るのは難しい状況ですが、現有施設の有効利用を図りながら集客に努めます。全国シニアソフトボール大会は渋川市での開催を前提に、今後グラウンド整備を進めます。

産業廃棄物最終処分場設置反対に関する決議について

質問 平成16年6月に決議したが、合併後の効力はどうか。また、市民憲章など、合併前の決議はどうなっているのか。

答弁 合併前の決議については、新設合併により旧市町村が消滅したことから、条例同様に効力は失効しています。市民憲章等についても現在失効していますが、今後新たに制定することとして順次取り組みます。



新築されたこもち幼稚園

一般質問

「農山漁村活性化法」

施行後の取り組みは

高橋 敬 議員

質問 都市住民と団魂世代

の移住・定住対策として空き家活用、ホームページの開設、首都圏でのプロモーション、仮称「住んでみたい渋川市推進会議」の設立など移住施策を図らないか。

答弁 地域の特徴をいかして農業体験が行われていますが、宿泊型や移住型は現

段階では進んでいないのが実情です。今後、情報収集・分析・検討・利用を研究していきます。

質問 拡大した農村地域の

問題解決に地図情報システムの利用と、農地保有合理化法人制度の活用を。

答弁 機器整備が完了し、地図情報収集を進めています。

す。法人は全市的な問題として研究していきます。

質問 農業者は販売戦略が

課題である。「ぐんま農産物マーケティング支援事業・渋川広域農業活性化協議会」の取り組み状況は。

答弁 活性化協議会は地域農産物流通部会・地域特産物部会・グリーンツーリズム部会の3部会構成で活動を行っています。

質問 国では、農家が生み出した栽培技術やノウハウを「匠の技」として発掘・

活用する事業を開始する。本市の「匠の技」は。

答弁 栽培技術やノウハウ、あるいは伝統的な品種などは、今後関係機関等と連携し、発掘・協力をお願いし進めていきます。

質問 零細・兼業農家対策と、北橘地区の直売所は小規模である。対策を。

答弁 兼業農家等の底上げのため関係機関と連携し支援していきます。直売所は農協設置ですので、要望がありましたら検討します。

定し、保護策を講じます。

質問 子持地区の浅田と赤城地区の敷島に橋を架けることにより、駅の活性化・温泉施設の増客・17号バイパスのアクセス道路として効果があると思うが。

答弁 質問の橋りようを含め6橋を対象に優先性についてのデータを整理し、内容を検討しています。

質問 ヘルシーパル赤城への今後の対応は。

答弁 現在、財政状況を踏まえた、市としての考え

について検討しています。

質問 赤城地区の農集排水業と渋川金井地区の公共下水事業の実施予定は。

答弁 来年度に策定予定の汚水処理計画の中で検討を行いたいと考えています。

質問 渋川総合病院について

質問 人間ドックの検査料金の額は。空き病棟の利用方法は。

答弁 日帰りドック3万7527円です。病棟活用方策は院内で検討しています。

について検討しています。

について検討しています。

赤城地区の問題点

須田 愛作 議員

質問 合併前の陳情、村道6288号線の拡幅と整備は。

答弁 陳情の道路は新市総合計画に位置付け、林道開設として整備を行います。

質問 県道赤城山敷島停車場線の拡幅について、今年度公図が整備されるが県への要望は。

日陰橋の欄干がさびているが対応は。

答弁 長井小川田日陰地区の県道拡幅要望は、地元の見意をお聞きし進めます。欄干も県へ要望いたします。

質問 ヒメギフチョウが激減しているが保護策は。

答弁 各関係者と協議を行い保存管理計画を早急に策

定し、保護策を講じます。

子持地区の浅田と赤城地区の敷島に橋を架けることにより、駅の活性化・温泉施設の増客・17号バイパスのアクセス道路として効果があると思うが。

質問の橋りようを含め6橋を対象に優先性についてのデータを整理し、内容を検討しています。

県指定天然記念物の
ヒメギフチョウ



北橘特産物直売所